

赤十字血液センターだより

さちしお

SACHISHIO

「血液事業をとおして、みなさまの幸せに貢献する」との願いを込め、幸せの「幸(さち)」と「血潮(ちしお)」を組み合わせ、名付けられました



石川県赤十字血液センター
ホームページ

はたちの献血

#献血 is

令和2年1月1日(水)～
2月29日(水)



石川県ご当地けんげつちゃん

まつっち

としいえっち

※ はたちの献血 ポスター
(キャンペーンキャラクター 乃木坂46)

ごあいさつ

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

県民の皆様方の心温かい善意の献血に支えられ、血液事業は円滑に推移していますことをまず報告でき、心から感謝申し上げます。

お陰様で、昨年度は約4万3千人の皆様から献血して頂き、安全で高品質の輸血用血液を患者さんの元へお届け出来ました。抗がん剤の治療、白血病など血液疾患の闘病、事故やお産後の大量出血、造血幹細胞移植、心臓血管手術、新生児黄疸の治療などに使用させて頂きました。これも皆様方のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

昨年7月には、秋篠宮皇嗣妃殿下の御臨席を賜り、第55回献血運動推進全国大会が成功裏に開催されました。大会に先立ち妃殿下には血液センターを御視察され、石川県の献血推進活動と学生による献血セミナーを御覧いただき、感謝と期待のお言葉を頂きましたので、県民の皆様方に御礼と共にご報告申し上げます。

超少子高齢社会を迎え、若年層の献血参加が急務です。石川県は大学と高校を横断した石川県学生献血推進委員会が活発に活躍しており、当センターといたしましては国や県と協力し、市町、ライオンズクラブやロータリークラブ、大学や高校、サポーター企業、献血支援団体等のご支援を受けながら、こうした学生の献血活動を積極的に推進しています。

献血はこれからも皆様方の“人のためを思う気持ち”に支えて頂くしかありません。本年も献血者が健康で安心して献血して頂けますよう、献血環境の改善、健康管理の充実、採血技術の向上など職員一同一層努力を続けていく所存です。

県民の皆様方には末永く健康を維持して頂き、健康で献血をして頂きますよう、また周囲の若者には“愛の献血”として背中をそっと押して頂きますようお願い申し上げます。



石川県赤十字血液センター 所長 塩原信太郎

Vol. 140



石川県赤十字血液センター

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



「献血セミナー」とは

普段、お住まいの地域や学校・会社などで献血が案内されていたり、ホームページや新聞、街頭などで協力を呼びかけているのを見かけたりして、献血に関心を持ってくださる方もいらっしゃると思います。

とはいえ、まだ献血したことがなければ、「献血してみたいけど、どんなものかよく知らないし、不安だな…」と思う方は多いかもしれません。

そこで、皆さんに献血に興味を持って理解を深めていただこうと、石川県赤十字血液センターでは、県内の様々な学校や地域に職員が伺い、献血についてお話しする「献血セミナー」を実施しています。



献血セミナーでは、献血の基礎知識（献血の流れや献血基準、皆さまが献血してくださった血液が患者さんのもとに届くまでの過程など）について詳しくお話しするほか、輸血を受けた患者さんからお寄せいただいたメッセージ映像をご覧ください。機会もあります。これまで献血したことがない方でも献血をイメージできるよう、また献血への不安や疑問を少しでも解消してもらえるように、工夫しながらお話ししています。

平成30年度には、高等学校や大学・専門学校など、10～20代の皆さんを中心に、94団体5,333名の方が献血セミナーを受講し、献血の重要性に理解を深めてくださいました。

実際の献血セミナーに伺いました

今回、日本航空高等学校石川（輪島市）で開催された献血セミナーを特別に取材させていただきました。

日本航空高等学校石川では、パイロットや航空整備士、キャビンアテンダントなどを目指す生徒の皆さんが実践的に学ばれており、将来空の安全を守る航空従事者として活躍されるにあたり、生命の大切さや社会貢献についても日々学ばれています。そのため、献血にもご理解が深く、平成15年度の開校当初から多くの生徒の皆さんや先生方が献血にご協力くださっており、その一環として、3年生を対象に毎年11月に献血セミナーを開催しています。

今回受講された217名の皆さんは、既に何度も献血してくれ



日本航空高等学校石川（輪島市）

献血セミナー 一篇

ている方もいれば、これまで献血したことがない方や献血について初めて聞くという方もいましたが、どなたも熱心に聞いてくださいました。

当日は、献血に関するお話しのほか、実際に輸血を受けた患者さんへのインタビュー映像も見ていただきました。皆さんは、患者さんやそのご家族の言葉に聞き入り、患者さんにとっていかに献血が大切かを感じてくれている様子でした。

翌日には、同校に献血バスが伺いました。献血セミナーを受講してくれた多くの皆さんが、「私も誰かの役に立ちたい」と積極的に協力してくれました。また、様々な事情で献血できなかった方も、友達に献血協力を呼びかけてくれました。中には、「初めて献血する仲間を応援したい」と、献血する友達と一緒にバスに乗って付き添ってくれた方もいました。



患者さんに元気をそそぐ



仲間の献血を応援！

様々なアプローチ

石川県赤十字血液センターでは、他にも様々な献血セミナーを展開しています。

医療系学部の学生を対象にした献血セミナーでは、血液センター所長による献血や輸血用血液製剤に関する専門的なレクチャーのほか、献血ルーム採血室や輸血用血液製



真剣な眼差しで聞き入る生徒の皆さん

剤の製造部門、医療機関への供給部門など、血液センター各部門の見学も実施しています。今年度参加した学生からは、「実際に献血に携わるプロフェッショナルから解説してもらって、理解が深まった」「血液センターでは、輸血が必要な患者さんと献血者双方の安全を守るために様々な努力をしていることがわかった」「将来血液を扱いたいと思っているので、大変参考になった」といった感想が寄せられました。将来の医療を担う学生さんにとって意義深い経験になっているようです。

また、小学生の親子を対象とした献血セミナーも開催しています。毎年夏休みに開催する親子献血教室では、『血液はかせ（医師、薬剤師）』から血液のはたらきについて教えてもらったり、血液を顕微鏡で観察したりするほか、実際の献血バスに乗って献血体験（模擬献血）を行ったりと、楽しみながら献血に触れることができるので、毎年多くの子供たちが参加し、親子で献血へのご理解を深めています。

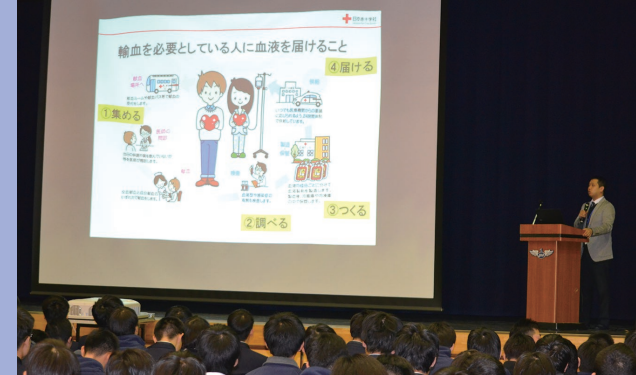
近年、特に10～30代の若い世代の献血者数が減少傾向にありますが、この現状を受けて、日々献血推進活動に携わっている学生ボランティアも、同世代の仲間たちに献血の必要性を伝えようと、自ら講師となって献血セミナーを開催してくれています。

県内では、金沢工業大学学友会の皆さんや、金沢星稜大学学生赤十字奉仕団の皆さんが各大学での学内献血前に献血セミナーを開催し、献血について説明するとともに、これまでの献血推進活動で培った知識や経験をもとに、受講した学生からの率直な質問や不安な点にも対応するなど、同世代の皆さんに直接語りかける献血セミナーを展開しています。



医療系学生対象の献血セミナー（採血室 見学）

献血について詳しく知ることができる「献血セミナー」。皆さんは参加したことがありますか？血液センターの職員が学校や地域に伺い、献血に関する様々なお話をしています。今回は、この「献血セミナー」をレポートします。



また、小学生の親子を対象とした献血セミナーも開催しています。毎年夏休みに開催する親子献血教室では、『血液はかせ（医師、薬剤師）』から血液のはたらきについて教えてもらったり、血液を顕微鏡で観察したりするほか、実際の献血バスに乗って献血体験（模擬献血）を行ったりと、楽しみながら献血に触れることができるので、毎年多くの子供たちが参加し、親子で献血へのご理解を深めています。

また、小学生の親子を対象とした献血セミナーも開催しています。

毎年夏休みに開催する親子献血教室では、『血液はかせ（医師、薬剤師）』から血液のはたらきについて教えてもらったり、血液を顕微鏡で観察したりするほか、実際の献血バスに乗って献血体験（模擬献血）を行ったりと、楽しみながら献血に触れることができるので、毎年多くの子供たちが参加し、親子で献血へのご理解を深めています。



献血について学ぶ子どもたち



献血について学ぶ子どもたち

近年、特に10～30代の若い世代の献血者数が減少傾向にありますが、この現状を受けて、日々献血推進活動に携わっている学生ボランティアも、同世代の仲間たちに献血の必要性を伝えようと、自ら講師となって献血セミナーを開催してくれています。

県内では、金沢工業大学学友会の皆さんや、金沢星稜大学学生赤十字奉仕団の皆さんが各大学での学内献血前に献血セミナーを開催し、献血について説明するとともに、これまでの献血推進活動で培った知識や経験をもとに、受講した学生からの率直な質問や不安な点にも対応するなど、同世代の皆さんに直接語りかける献血セミナーを展開しています。

講師を務めた学生ボランティアの一人、金沢星稜大学学生赤十字奉仕団の藤田 彩花さんは、「輸血が必要な患者さんにとって献血はなくてはならないものなので、ぜひ多くの学生に協力してほしいという思いでお話ししました。自分の経験を踏まえ、普段



学生ボランティアによる献血セミナー（上：金沢工業大学、下：金沢星稜大学）



講師を務めた藤田 彩花 さん（金沢星稜大学）

献血にもたくさんの学生が協力してくれました。今回の献血セミナーで、みんなの献血に対する理解を少しでも深めてもらえたことと嬉しかったです。

また、献血セミナーの講師を務めたことで、自分とは違う様々な意見を聞いたことも良かったです。今後のボランティア活動につながる良い経験になりました。」と話していました。



たくさんの学生が協力



献血セミナーや学内献血を運営した金沢星稜大学学生赤十字奉仕団の皆さん

よく質問される点を重点的に説明し、できるだけ皆の不安を取り除き、理解を深めてもらえるよう工夫しました。参加した学生は皆熱心に聞いてくれて、セミナー後の学内

「献血セミナー」を受講してみませんか？

石川県赤十字血液センターでは、こうした様々な献血セミナーを今後も積極的に展開していきます。

献血セミナーをとおして、命の大切さやご自身の健康について改めて考えたり、地域社会での助け合いや、社会貢献についてご理解を深めたりするきっかけにもなります。ぜひ一度皆さんも受講してみたいはいかがでしょうか。

献血セミナーは、部活やクラブ、サークル、同好会などのグループ単位から受付しています。また、学校・地域組織・企業・団体単位でも実施可能です。赤十字血液センター職員が伺い、お話しさせていただきます。

献血したことのない方だけでなく、献血したことのある方も受講できます。地域や学校・職場で、献血に触れる機会の一つとして、またボランティアや社会貢献のヒントとして、ぜひ献血セミナーをご検討ください。

ご希望の方は、下記までお申し込みください。

〈献血セミナー お申込み・ご相談〉
石川県赤十字血液センター献血推進課 推進係
〒920-0345 金沢市藤江北4-445
TEL (076)254-6372 (直通) FAX (076)254-6427

KIT 金沢工業大学 17年連続 学内献血年間千人達成!!

金沢工業大学では、学友会学生健康委員会が中心となり、年間を通して学内献血を企画・実施しています。熱心な呼びかけに多くの学生さんが応え、平成15年度には初めて年間学内献血者数が1,000人を突破しました。以来、学内献血年間1,000人達成の連続記録を毎年更新されています。



学友会会長へ感謝状を贈呈



1,000人目となった久保田篤志さん

令和2年1月22日(水)、今年度も学内献血者が1,000人を突破しました。実に17年連続の快挙です。多大なご協力に感謝の意を表し、石川県赤十字血液センター 塩原 所長より、学友会会長の八尾悠生さんに感謝状等を、また1,000人目となった大学院1年の久保田篤志さんに記念品を、それぞれ贈呈しました。

久保田さんは、学友会活動をきっかけに献血を始めたそうで、今回で13回目の協力でした。当日は、地元テレビ局やラジオ局など多くの報道機関から取材を受け、「自分が1,000人目になるなんて光栄です。献血は短時間でできる人助けだと思うので、これからもぜひ協力していきたいです。」と話していました。

4月から学内献血の実施に力を合わせて頑張ってきた学友会の皆さんも、達成感と嬉しさでひとしおの様子で、記念撮影ではまぶしい笑顔が見られました。この日を迎え、互いの労をねぎらうとともに、献血に協力して下さった同大学生の皆さんや、活動に賛同して学内献血に協力して下さった近隣の企業・団体の皆さまにも深く感謝していました。

金沢工業大学の皆さま、本当にありがとうございました!!



学友会の皆さん

第8回 献血ポスターコンペティション

石川県赤十字血液センター所長賞 決定!

東海北陸ブロック血液センター主催「第8回献血ポスターコンペティション」において、多くの応募作品の中から、石川県赤十字血液センター所長賞に、金沢大学看護学部3年 井上沙恵さんの作品が選ばれました。

令和元年12月23日(月)に石川県赤十字血液センターで行われた表彰式では、塩原所長から井上さんに表彰状が手渡されました。

輸血を受ける患者さんが、献血に協力して下さる皆さんに微笑みかけている、優しい気持ちになる作品は、献血ルームに展示するほか、今後、特に若い世代への献血PRに活用させていただきます。

皆さんも献血ルームにお越しの際にぜひご覧ください!



表彰式にて(塩原所長、井上沙恵さん)

イベント・キャンペーン情報

パレンタイン献血キャンペーン

献血ルーム ル・キューブ 2月8日(土)~2月14日(金)
期間中献血にご協力いただいた方に、**チョコレート**をプレゼント!

ホワイトデー献血キャンペーン

献血ルーム くらつき 3月10日(火)~3月14日(土)

献血ルーム ル・キューブ 3月8日(日)~3月14日(土)
期間中献血にご協力いただいた方に、**クッキー**をプレゼント!

献血ルーム ル・キューブ 開設6周年記念キャンペーン

献血ルーム ル・キューブ 3月17日(火)~3月22日(日)

期間中献血にご協力いただいた方に、**素敵な記念品**をプレゼント!
その他楽しい企画が盛りだくさんです!

問診時体温測定が始まりました!



ビッ!
ビッ!!
あてこで
1秒

令和元年12月1日から、献血にご協力いただける方全員に問診時の体温測定が始まりました。

非接触型の体温計を使い、1秒ほどで測定できます。

献血される方の健康を守り、また患者さんにより安全な血液をお届けするために、ご協力をお願いします!



ありがとうございました! 永年献血

長きにわたり献血にご協力いただき、今回献血を卒業された皆さまをご紹介します

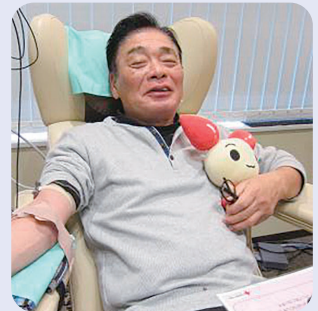
20代の頃から職場に来る献血バスで献血していました。

献血できるのは69歳までということで、ちょっぴり寂しい気もします。ささやかですが、少しは世の中の役に立つことができたのかなあとと思います。

最後の献血は献血ルーム ル・キューブでしたが、快適で、リラックスして献血できました。献血が、様々な面で進歩していて素晴らしいと思いました。その上、変わらず多くの人が献血しているのもまた素晴らしいですね。

これからも献血がますます発展していくよう祈っています。

橋本 謙一 様(金沢市)



昨年5月に新元号令和に変わり、記念すべき年に「献血運動推進全国大会」を県内で無事開催することが出来ました。秋篠宮皇嗣妃殿下がセンターをご視察されたことは本当に思い出深いものとなりました。慌ただしく過ぎ去った令和元年、あっという間でした!

本年は、会員サービス「ラブラット」を充実させ、CMS予約を使っの新しい献血のあり方に力を入れるなど、皆さまのニーズにさらに応えていきたいと思っております。

本年もどうぞよろしく願いいたします。(編集委員 M)